

第 10 回証言集会プログラム

(2011/07/24 県民センター402)

震災・原発から「あの戦争」について考え直そう！

14:00 ～ <開場> (受付)

14:30 ～ <開会> 司会者、主催者あいさつ

14:40 ～ 第 1 部 映像証言「東日本大震災の復興に望む」

～ 前車の轍を踏むなかれ ～

(証言者：絵鳩毅さん) および解説

15:30 ～ 休憩

15:40 ～ 第 2 部 講演「加害を伝える意味」

～ 平和のために学ぶべきこと ～

(講演者：藤田秀雄先生)

16:40 ～ 質疑

17:00 終了目途

次回の神奈川証言集会は 9 月 25 日(日)13 時より、かながわ県民センター301 に於いて、絵鳩さんご本人による証言集会「帰国後の後半生を語る」(撫順戦犯管理所から帰国 54 年)を予定しています。

* 次回証言集会の情報ご希望の方はアンケート用紙に連絡先を記入しておい下さい。

* (手紙、メールなどで受けとっている方はお名前だけの記入で結構です)

え ば と つ よ し
絵 鳩 毅 さん ・ 略 歴

- ※ 1913 年 3 月 鳥取県鳥取市に生まれる
16 日には 9 8 才の誕生日を迎えられました

- ※ 1938 年 3 月 東京帝国大学(現東京大学)文学部倫理学科卒業、卒業後、文部省教学局思想課、山梨県女子師範学校(兼山梨高等女学校)、長野県上田高等女学校専攻科などに勤務する

当時の教え子さんたちとは今も交流されておられるそうです。
2 年後には絵鳩さんが白寿を超えて 100 才、教え子さんたちが米寿(88 才)を迎えられます。
「みんなで祝いしましょう」と約束されて、今から再会を楽しみにしておられます。

- ※ 1941 年 7 月 (28 才) 臨時召集を受けて東部第 6 4 部隊に入隊、翌年 5 月、北支那派遣軍第 1 2 軍第 5 9 師団第 1 1 1 大隊機関銃中隊に転属)、以後 3 年余中国山東省での侵略戦争に参加(陸軍一等兵～陸軍伍長)

- ※ 1945 年 8 月 北朝鮮にて敗戦を迎え(陸軍軍曹)、ソ連軍の武装解除を受けて捕虜となり、シベリアでの 5 年間の強制労働に服す、更に戦犯として中国に移管されて撫順戦犯管理所に 6 年間監禁される

- ※ 1956 年 9 月 (43 才) 起訴を免除されて帰国
入隊から帰国まで、じつに 15 年間の年月を要したのです

- ※ 帰国後の略歴は 9 月 25 日に予定している証言集会で準備します